

■東京支部活動の報告

【1】平成28年度 柑芦会 支部活動

① 観光教育研究セミナー2017 Vol.1 in 東京支部

日時:平成29年8月10日(木)14:30受付開始、15:00～17:30

場所:フクラシア品川クリスタルスクエア(港南口)3F 会議室 G

東京都港区港南 1-6-41(JR 品川駅港南口/京浜急行品川駅から徒歩 8分)

テーマ:スポーツツーリズム～メガイベントが日本社会を変える～

定員:100名 参加費:無料 事前申込み制(詳細は同封案内をご参照願います)

その他:同日同会場12:30～14:00にて和歌山大学観光学部ミニオープンキャンパスあり

申込期日:2017年8月4日(金)17時

*参加申込が必要です。和歌山大学まで、E-mailにてお申し込みください。(参加費は無料)

本文に「お名前」「ご連絡先電話番号」をご記入のうえ、下記までお申し込みください。

和歌山大学 国際観光学研究センター E-mail info-ctr@center.wakayama-u.ac.jp

② 第6回東京支部人生塾のお知らせ

日時:平成29年9月8日(金)18:30受付開始、19:00開演

場所:損保会館4階404会議室 東京都千代田区神田淡路町2-9 (電話)03-3255-1299

なお定時後通用口よりお入り頂きますので守衛に本案内状をご提示願います

講師・演題:「激動する世界とこれからの日本」

大学18期 森 淳一郎さま(アライアンス・フォーラム財団 代表理事補佐、元伊藤忠商事)

参加費:1,000円(軽食・コーヒー代含む)

募集人数:約40～70名(ぜひ多数ご参加願います)

懇親会について:講演終了後に有志で簡単な懇親会を実施したいと思います(実費割り勘)

出欠について:人生塾講演会のみ、懇親会だけのご参加も大歓迎です。

※準備の都合もあり出欠(両方、講演会のみ、懇親会のみ)は9月1日(金)までに

下記事務局(柑芦会東京支部)宛にお願いします。

③ 名草会(和歌山大学 OG 会)のお知らせ

わかやま定住サポートセンター芝めぐみ様(観光1期)をお招きしてのお食事会です。

日時:平成29年9月2日(土)12:00～

場所:がんこ新宿西口店(03-5322-7011 新宿区西新宿 1-10-2(110ビル 10F))

<http://www.gankofood.co.jp/shop/detail/wa-shinjukuwest/>

受付開始:11:50(名草会にて予約済)、開会:12:00、終了:14:00頃予定

参加費:お食事代各自自己負担分 2,800円(お昼の特別会席「かりん」3,300円+飲み物:一部補助)

名草会幹事:29期 本田(鈴木)孝子、平松(小栗)真由美、32期 畠中(川嶋)陽子

出欠について:経済学部だけでなく教育学部、システム工学部、観光学部OGの方も大歓迎です。

準備の都合もあり出欠は8月25日(金)までに下記事務局(柑芦会東京支部)宛にお願いします。

【人生塾・名草会出欠連絡先】

柑芦会東京支部:〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F

E-mail: tokyo@kourokai.com

【2】支部総会&懇親会準備会を開催しました。

7月15日(土)13:00～東京支部総会&懇親会に向けた準備会に多数ご参加頂きありがとうございます。

また、懇親会では、支部総会後の懇親会の余興について29期の幹事団と打ち合わせも行われました。

ぜひ、10月の支部総会&懇親会には皆さまお誘い合せの上、是非多数ご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

平成29年度柑芦会東京支部総会&懇親会開催のご案内

1. 日 時 : 平成29年10月21日(土)10:00受付開始、 10:30 ~ 14:30
2. 会 場 : 損保会館2階大会議室(裏面地図をご参照:JR御茶ノ水・秋葉原、地下鉄淡路町、小川町ほか)
東京都千代田区神田淡路町2-9 (電話)03-3255-1299
3. 会 費 : 5千円(新卒者:大65期は無料、卒業後10年以内の若手:大56~64期および女性会員は4千円)
4. 出欠について

■準備の都合もあり出欠は9月29日(金)までに事務局宛に(下記または同封ハガキで)お願いします。

■メールアドレスをお持ちの方は今後の連絡に活用させていただきたく是非ともメールでご回答願います。

E-mail: tokyo@kourokai.com

電話: 03-3366-3680(受付時間:平日 09:00~18:00、土曜日: 09:00~15:00)

FAX: 03-3369-3469(ハガキ回答面に必要事項をご記入の上そのままFAX 送信願います)

■懇親会も大会議室で行います。ゼミ・クラブ等先輩後輩に幅広くお声掛けいただき多数ご参加下さい。

■教育学部・システム工学部・観光学部の方、他支部の方々のご参加も大歓迎です。

和歌山大学関連

○【お礼】平成29年度和歌山大学説明会/オープンキャンパスについて

和歌山大学では、平成29年7月16日(日)にオープンキャンパスを開催いたしました。今年は猛暑の中、3,900人を超える来場者がありました。ありがとうございました。

○【お知らせ】平成30年度和歌山大学経済学部社会人特別入試について

経済学部では、社会人特別入試の募集要項が出来上がりましたのでご報告いたします。

募集人員は3名、出願期間は平成29年11月1日(水)から11月7日(火)までです。

詳しくは、本学HPをご覧ください。【 <http://www.wakayama-u.ac.jp/eco/news/2017072400025/> 】

○【お知らせ】夏季一斉休業について

今年も和歌山大学では、下記期間におきまして、夏季一斉休業を実施することとなりました。皆様にはご不便をおかけいたしますがご協力とご理解をお願いいたします。

一斉休業期間:平成29年8月14日(月)~8月18日(金)

○【ご案内】平成29年度ホームカミングデーの開催について

今年も和歌山大学では、平成29年10月28日(土)に大学キャンパス内において、「第7回大学ホームカミングデー」を開催いたします。前回同様、課外活動施設を開放いたしますので、OB・OGの皆さんと現役学生の交流の場としてご活用ください。

また、来年度以降も、10月第4土曜日にホームカミングデーを定例開催といたしておりますので、この日に大学施設を活用してのOB戦などの交流行事を催していただければ幸いです。

詳しくは、本学HPをご覧ください。

和歌山大学HP【 <http://www.wakayama-u.ac.jp/homecoming/> 】

○【ご案内】経済研究所紀要『地域研究シリーズ』について

この度、『地域研究シリーズ 51』を発行いたしました。

『地域研究シリーズ』は、和歌山県地域の発展に資することを目指した経済学部教員による研究の成果をとりまとめたもので、和歌山の経済、経営、歴史、文化、自然等にかかわる諸問題が取り扱われています。

シリーズタイトルは下記のアドレスにて公開しておりますのでご参照願います。

【 <http://www.wakayama-u.ac.jp/eco/keiken/bulletin/ktiiki.html> 】

○【ご報告】経済研究所講演会『製品開発と原価企画 ―トヨタブランドの源泉―』を開催

平成29年7月25日(火)に、経済研究所講演会を開催いたしました。

詳細は、本学HPをご覧ください。【 <http://www.wakayama-u.ac.jp/eco/keiken/news/2017071800062/> 】

○【ご報告】学生クラブ活動等ご報告

・剣道部

松元佐樹さん(教育学部2年生)が、5月7日開催の第47回関西女子学生剣道選手権大会で、ベスト8となり、7月22日～23日開催「第51回全日本女子学生剣道選手権大会」に出場(3回戦敗退)いたしました。



・水泳部

9月初めのインカレに男子水泳部の小梶琢也君が背泳いで出場します。

第93回 日本学生選手権 水泳競技大会 9月1日(金)～3日(日)

会場: 東和薬品ラクトブドーム(大阪府立門真スポーツセンター) <http://www.namihayadome.gr.jp/>



・弓道部

女子(関西学生弓道連盟一部リーグ所属)は、6月24日～25日開催「第29回全国大学弓道選抜大会(女子の部)」に出場し、ベスト8の成績を収めました。

今月の表紙

カンナ



柑 芦 同 人 誌

平成二十九年八月一日発行 八月号

第642号

2017. 8

清記を終えて 2

642号

○遊生さんの独り書き53 ○不良老年・その18 今年85歳。芦火に入会して26年。もとはといえ「三食」の同志のつながりにあると。「なんでもやってみる」の言葉は味わい深いものがある。「若い時の苦労は買ってでもせよ」「同じ釜の飯」のつながりが現在生きる。そして社会人となりそれぞれの人生を経て芦火で再会する。芦火の中核を占めて歴史を刻んでいただいている。 ●会社人間余話 黒田家の歴史に纏わる話、歴史的にもいわくのある祖父母から七人家族へと至り、一人大学（和太）進学を許されて入社した会社で思う自分の生き方。リタイア後も公害の専門書になるほどの著作をものにされた。一方家族愛も一族の俳句誌へとつながり三百号へ。見事なものである。

○スナップ写真 今月は都合によりお休みです。

●国会も閉幕したが、加計問題は治まらない。内閣支持率は30%後半と急落。しかしそれでよいのだろうか。北朝鮮はミサイルと核実験をいつやるかわからない。中国も北朝鮮には及び腰。国連制裁もほとんど効果を上げずに北朝鮮は間もなく核保有国になるだろう。災害と同じで自分の所には及ばないとの考えがある。そして実際に危険が現実化すると想定外ということとで、ボランテアの言葉が氾濫する。一方小学校ではミサイルが飛んで来ることを想定して避難訓練をするところが出てきた。専守防衛ならば核シエルトを考えるかどうかの議論をしてもらいたい。九条があれば何も問題ない。もしなにかあっても仕方がないで済むならそれでよいが、おそらく政府の無策をなじるであろう。国連制裁が二十年も機能しない現実を認めて、我が国はどうかの議論くらいは始めてもよいのでは。

◎ 本号高得点者

31点 としを 20点 頭一郎 19点 純一 16点 史浩、温州
13点 穂心 10点 恵吾 9点 六甲、8点 英夫、わたる、勝

◎ 本号高得点句

7点 留守番の子に約束のさくらんぼ としを
7点 芽算を水面に映す植田かな 温州
7点 どこへ行くあてもなきまま更衣 純一
7点 仁徳の濠に魚はね梅雨に入る かぞう
6点 あじさいや大きな傘の一年生 頭一郎
6点 木の根瘤力漲る立夏かな としを

惜しい!5点句 早乙女の純一 母校勝つ史浩 開け放つ英夫
崖道の頭一郎 老いも死もとしを 妻の風史浩 子燕の穂心

次号宗匠「切捨て御免担当」代理 頭一郎 としを(三回終了につき)

次号兼題 カンナ 明治年間に渡来し、現在は鑑賞花として広く栽培されている。大型の多年草。花は七月から十一月ごろまで、咲き続け、花は筒型である。色は紅・黄など人工交配によって園芸的に作られたものがある。初秋に赤や黄の花が大きな葉から突出しているのが殊に美しい。

夏の花のように思うが俳句では伝統的に初秋の花の盛りを詠まれることが多い。

・女の唇も集めてカンナの花 山口青邨 ・カンナ散り孤独の日々を染しめり 三橋鷹女
・ゴーギャンの赤にも優るカンナ咲く 飯岡良一 ・カンナ燃ゆ鉄路の錆を浴びながら 西村舟津
・校庭は無人のカンナ緋を主張 西川壽賀子 ・鉄棒に学童ひとりカンナ燃ゆ 西崎佐知

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがですか？
また、和歌山大学図書館に「芦火」句集が配架しています。

発行人：山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL :096-382-4767

■わかやま関連Information

①和歌山市実証試験 防災マップ作り、手軽にスマホで参加

スマートフォンで手軽に防災マップを作れるシステム開発に、和歌山大学院生が取り組み。

災害時の避難ルートや避難所、危険な場所などを記したマップを地域住民が手作りすることで、防災意識の向上が期待。南海トラフ地震に備えるため、家庭で防災マップを作ってもらおうを目指す。

実証試験には、和歌山市口須佐地区の自主防災組織の6人が参加。

詳しくはこちら <https://mainichi.jp/articles/20170717/ddn/010/040/029000c>

②紀の国トレイナート デザイン列車プロジェクト！

今年も全国、世界から広く子どもたちに列車車体デザインを募集。最優秀デザイン賞に選ばれた作品は、JRきのくに線の車体となって約4ヶ月紀伊半島を走り抜けます。

詳しくはこちら <http://trainart.jp/2017/pre.html>

③和歌山初の女子硬式野球 女子野球×豊かな暮らしセミナー

和歌山県田辺市で、都会では味わえない豊かな暮らしのもと、整ったスポーツ施設でおもいきり野球を楽しみませんか？スポーツで疲れた身体は温泉や大自然で癒やされます！セミナー当日は、先輩移住者である和歌山ファイティングバーズ NANA 監督の川保麻弥さんが、移住生活についてお話しします。

日程 2017/08/22(火) 19:00-20:45

場所 NPO ふるさと回帰支援センター(東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 8階)

詳細・申込: https://www.furusatokaiki.net/seminar_detail/?event_id=30995

④ 第8回香村賞ビジネスプランの募集について

『ビジネスプラン』部門

高度の専門能力、創造的才能、企業者精神を生かして、大企業では実施にくい創造的・革新的なビジネスプランや新しいシステムづくりに創意工夫を凝らし、新機軸を生み出し、豊かな事業機会を開発するなど、学生らしい、また実現性の高いビジネスプランを奮ってご提案ください。

『わかやま創生プラン』部門

和歌山県内の地域資源1)を用いて、県内の深刻な地域課題の解決に寄与する地方創生ビジネスプラン2)について募集しますので、奮ってご提案ください。

詳細はこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2017072400070/>

⑤若手農業生産者育成 紀ノ川農協 × 和大 OB

「紀ノ川農業協同組合」(紀の川市)は、ハウスなどの建設にかかる費用を無利子で立て替える「レンタルハウス」の取り組みをスタート。農業で独り立ちして6年目で、トマトなどを栽培する星原智宏さんは、和歌山大学を卒業後、和歌山県内で農業に取り組んできた。来年1月に紀の川市内に建てられる予定のレンタルハウス(建設費約800万円、3分の1は県補助金を活用)を利用する。

詳細はこちら https://www.furusatokaiki.net/seminar_detail/?event_id=30995

⑥避難者を育てる 和大小とJRが津波避難訓練

JR紀勢線の電車に乗車中に南海トラフ地震が起きた場合、津波からいかに逃げるかを体験する避難訓練が31日、新宮市であった。乗客の高校生たちが有事に「率先避難者」となるべく真剣に取り組んだ。電車に乗った学生らが地域の歴史や文化と同時に避難方法も学ぶという、和歌山大学・西川研究室主催、JR西日本協力の「鉄學」という企画。

詳細はこちら <http://www.asahi.com/articles/ASK7041JPK70PXLB00D.html>

⑥ 自転車で和歌山県内を巡るフリーペーパー『リ;サイクル』を7月 21 日に創刊

和歌山大学在学中、サイクリング部に所属していた真さん。しばらく自転車から遠ざかっていたが、3年前に再び乗るようになった。観光を兼ねたスポーツとして人気のサイクリング。和歌山市の会社員、宮園真さん、正子さん夫妻が、自転車と和歌山県内を巡るフリーペーパー『リ;サイクル』を7月 21 日に創刊した。真さんは「名前は自転車の『サイクル』に、自転車に乗れば、いつもと違う和歌山の魅力を『再』発見できるという意味を込め、『リ』を付けました」と話している。

詳細はこちら http://www.nwn.jp/news/170729_recycle/

⑦ 田辺祭をネットで発信 和歌山大学の学生

和歌山大学は2015年から、同市南新町の協力を得て学生が田辺祭に参加。住民らの手伝いをしながら祭りの歴史や行事などを調べ、地域のことを記述できるサイト「Localwiki(ローカルウィキ)」とネット上の地図に地域情報を書き込む「オープンストリートマップ」にまとめて紹介している。昨年は計 13 本の記事を発信した。

詳細はこちら http://www.nwn.jp/news/170729_recycle/

⑧ 「紀州鉄道」究める 現地を調査、活性化提案

和歌山大学経済学部の2学生が、御坊市を走る紀州鉄道の現状や活性化策を研究し、16日に和歌山市栄谷の大学内で開かれたオープンキャンパスで発表した。撮影したくなるような外観に車両を塗装したり、地元の食と連携して売り出したりする案を提案している。

詳細はこちら <https://mainichi.jp/articles/20170723/ddl/k30/100/228000c>

文・編 47 期 中川貴照

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会東京支部

電話:03-3366-3680(柑芦会専用)平日 9:00~18:00 土曜日:9:00~15:00

FAX:03-3369-3469(共用番号)柑芦会東京支部宛と記載願います。

e-mail: tokyo@kourokai.com